

2006年度JHF理事会議事録

日 時： 2007年3月15日（木） 11:00～17:00

場 所： JHF事務局会議室（豊島区巣鴨3-39-4 東都ビル2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 城 涼一 議事録署名人： 下村孝一 松田保子

議事録作成人：桜井加代子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一
城 涼一 松田保子

【監事】對馬和也

(出席理事7名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 会長挨拶/各理事一言

下村会長：いろいろと問題も多いのですが、可能な限り全員合意のうえで進めたいと思いますので活発な議論をお願いいたします。

菊池理事： パラグライディング教本の業務委託契約終了について一部勘違いをしていました。2月19日時点で契約を終了し、同月末までに成果物を提出してもらうこと了解しました。

荒井常任理事：早くパラグライディング教本が出来ればよいということだけ考えています。そのために全力を尽くしたいと思います。

松田理事： 教本を改定するのは「いい教本」を作るためです。正確なわかりやすい記述の教本が出来るよう努力したいと思っています。

城理事：理事以外の配信する必要のない常設委員にメールを配信してしまいました。幸い重要情報ではなかったのですが、今後も一層情報の管理を徹底したいと思います。

北野常任理事：明後日からハンググライディング日本選手権が始まります。そのための準備で忙しく過ごしています。よい大会にしたいと思います。

大沢副会長：日本選手権の役員をやっております。スムーズに開催できるよう全力を挙げたいと思います。

4. 審議事項

第4-1号議案 2007年度予算成立までの収入支出について

定款第38条第2項に基き、今年度予算が成立するまでの間、前年度予算に準じて収入支出の承認を求めるもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4－2号議案 2007年度通常総会日程の変更について

東京都大崎労政事務所が当初日程6月13日に行行政使用のため確保することが出来ず、代わり6月14日を予約した。他の候補会場もあるが正会員の利便性を考慮し日程の変更を提案するもの。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4－3号議案 JHF技能証デザインの改定について

新ロゴマーク制定に伴いJHF技能証デザインを改定する必要がある。
これを機に従来の練習生、パイロット、インストラクターの三種のデザインを統一することとし、別紙のとおり松田理事からニューデザインを提案した。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4－4号議案 補助動力技能証規程の改定について

菊池理事から、補助動力技能証におけるトeing技能の位置づけについて、教員・スクール事業委員会に諮問することを提案した。

提案理由は次の3点。

1. 2007年パラグラディング世界選手権出場資格にトeing技能証取得が義務付けられていたがJHF技能証規程にその技能が定められていないため、1月理事会で出場選手に対し特別講習を実施し終了証を授与することを決定した。
2. もともと補助動力技能証のコンセプトにはトeing技能も含まれており、トeing技能を明確に定める必要があるとの補助動力委員会からの意見具申がある。
3. 徳島県ハンググライディング連盟椋本清治理事長から、補助動力技能証の中でトeing技能規程を取り扱うべきとの意見が寄せられている。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4－5号議案 教員技能証申請資格の特例について

パラグライディング助教員福岡聖子氏の教員技能証申請資格の特例申請。
埼玉県ハング・パラグラディング連盟下山進理事長から提出されたもの。
本来教員技能証の申請は、助教員技能証取得後1年の経過期間かつ30日以上の教習活動が条件とされているが、別紙の理由によりその特例を申請するもの。
この件について、事前に教員・スクール事業委員会に事前に意見を求め、5名の委員から承認する旨回答が寄せられている。

審議の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、北野、下村、松田

第4－6号議案 パラグライダー教本の今後の取り組みについて

2月19日理事会で、契約保証人西ヶ谷氏にアウトフィールド社との教本業務委託契約を契約条項に基き終了するので、同月末までに成果物を提出するよう口頭で通知していた。

これを受け同社(西ヶ谷氏)が提出したダンボール1箱の資料(3月5日事務局着)の内容を、添石事務局長立ち会いのもと松田理事が確認した。

松田理事から、「利用可能な一部を除いて、送られた資料からはこれまでの成果を確認することが出来ない」との報告がなされた。

この報告を基に理事会で再度提出された資料を確認し、今後の対応について討議した。

その結果次のような提案がなされた。

1. 松田理事が、今後教本の編集作業を担当すること

これに伴い、アウトフィールド社及び西ヶ谷氏は教本の編集等に一切関与しないこと。

2. 松田理事が、「編集作業」に90万円及び「執筆者」費用に50万円の予算枠を管理すること。

3. 「編集作業」には、JHFと西ヶ谷氏(アウトフィールド社)との間で問題となった「デザイン」を除くこと(この部分は、別途予算枠100万円でJHFが外注する)。

採決の結果【賛成5　棄権1　反対0】で可決された

賛成：大沢、菊池、北野、下村、松田

棄権：荒井

その後西ヶ谷氏に理事会出席を求め、成果物について説明を求めるとともに、あわせて「アウトフィールド社との教本に関する業務委託契約の終了及びこれまでの成果物のJHFへの引き渡し」を改めて通知した。

協議事項

5－1 日本パラモーター協会認定と「但馬合意」の見直しについて

財団法人日本航空協会角田室長の私案。日本マイクロライト航空連盟(JML)からフットランチドマイクロ部会(FLM)が分離独立し日本パラモーター協会を設立する。JAAとして新団体をパワードパラグライディング(PPG) & パワードハンググライディング(PHG)の統括団体として認める方向にあるので、これを機会にJAA、JHF、JMLの三者間で取り交わした「但馬合意」を見直したいというもの。

別紙角田室長の提案書について協議した結果、次の指摘がなされた。

1. 但馬合意見直しに当たっては、合意した三者が直に話合うべきである。
2. もともとの合意締結の経緯から見直しにはもっと時間をかけるべきである。
3. 理事会で協議する前に補助動力委員会に諮問しなければならない
4. 分離独立する日本パラモーター協会が未だ設立されておらずその前提で回答を求めるのは性急すぎるのではないか。
5. 日本マイクロライト協会に直接真意を確認する必要がある。

協議の結果下村会長が文案を作成し、各理事の了解を得て回答することになった。

5－2 アジア選手権の取り組みについて（質問）

徳島県ハング・パラグライディング連盟棕本清治理事長からの質問について協議した。
パラグライディングアジア選手権は開催を希望する地元からの盛り上がりがあつて、その要請にこたえる形で JHF が協力、最終的に NAC である日本航空協会が主催することが望ましい。この前提でそれぞれの質問に対し次のとおり話合った。

質問 1. アジア選手権を開催する意志が JHF にあるのか？

前述の趣旨から、こ質問はそぐわないのではないか。

質問 2. アジア選手権はどこが主体となって行うべきか？

地元、JHF、JAA 三者が一体となって開催すべきもので、その意味では三者主体ということになる。

質問 3. 開催場所はどうか？

開催を希望し、かつ開催するための“人もの金”を有するところ

質問 4. 理事の交代について

これまで西ヶ谷理事が窓口となってきたが、同氏が辞任したので今後は菊池理事と相談をしていただくことになる。

質問 5. 今後の JHF の具体的な行動について日程などを説明してください。

JHF としては 2010 年パラグライディングアジア選手権を日本で開催することを CIVL で非公式に表明している。

従って開催を希望する地元と NAC の間にたつてこの事業が円滑に上手く遂行できるよう努力することになる。特に JPA に対しては準備委員会設立の時点から参加を呼びかけて、アジア選手権成功をめざすべきである。

但し個々の質問に対して回答する形式をとらず一括して回答するよう北野常任理事が文案を作成することになった。

4. 報告事項

6－1 JHF 役員選挙について（通告）

JHF 役員選挙規約第 37 条に基く選挙管理委員会からの通告として了承された。

6－2 2月フライヤー会員・技能証登録発行実績

会員システムの不具合で正確なデータが得られず、追って報告することになった。

6－3 2月予算収支：進捗管理表

収入実績は予算に対し 113.85%、支出実績は予算に対し 98.44% で順調に推移していることが報告された。

6－4 教員・スクール事業委員会の協議内容報告書

別紙のとおり

6－5 パラグラディング世界選手権報告

別紙のとおり

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(城 涼一)

署名人

(下村孝一)

署名人

(松田保子)

議事録作成人：桜井加代子